

八代市中心市街地活性化プロジェクト実践編

総合管理学部 澤田ゼミ
さわラボ

連携先：八代市、八代市中心市街地活性化協
議会

本日の発表の流れ

1. 研究の趣旨・目的
2. これまでの流れ
3. 「たまりんば」での出店について
4. アンケート結果
5. 取組の結果からわかったこと
6. 提言

研究の趣旨・目的

八代市中心市街地に立ち寄る中高生の減少



- ・ 中高生を呼び込むための魅力的な店舗を考案
- ・ その店舗を施行し、これからの八代市中心市街地がどうあるべきかを研究する

これまでの流れ ～昨年度からの活動～

八代市から市街地を通る生徒減少の原因調査依頼



昨年度に前メンバーがアンケート調査



今年度は昨年度のアンケート結果に基づき店舗の出店を行う

これまでの流れ～今年度の活動～

9 / 1 0 現地調査

1 0 月～1 2 月 出店準備

1 2 / 2 7 ・ 2 8 出店

2 / 1 9 地域報告会

「たまりんば」での出店①

実施日 12月27～28日

実施時刻 12：00～20：00

実施場所 八代市本町アーケード内
まちなかホームルーム「たまりんば」



「たまりんば」での出店②

出店内容

1. 飲食サービス(有料)

- ・ 飲み物一杯+駄菓子3個を**100円**で販売

2. 相談サービス

- ・ 勉強相談等様々な相談受付

3. 読書スペース提供

- ・ 参考書、漫画など若者向けの本を設置



「たまりんば」での出店③

出店目的

1. 低コストで中高生に魅力的な店舗を出店できるかの確認

2. 出店を通じて商店主の方に問題意識をもってもらう

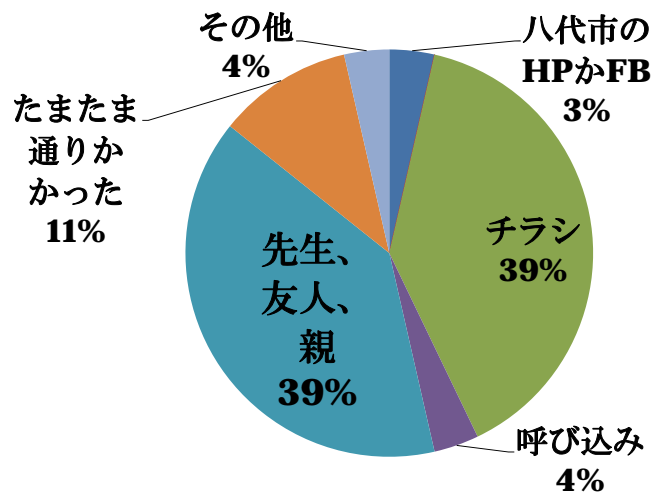
当日、出店の様子



看板

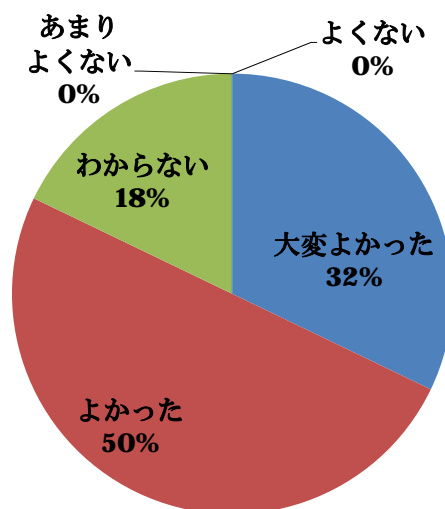


Q1, 「PUKcafe」を知ったきっかけ



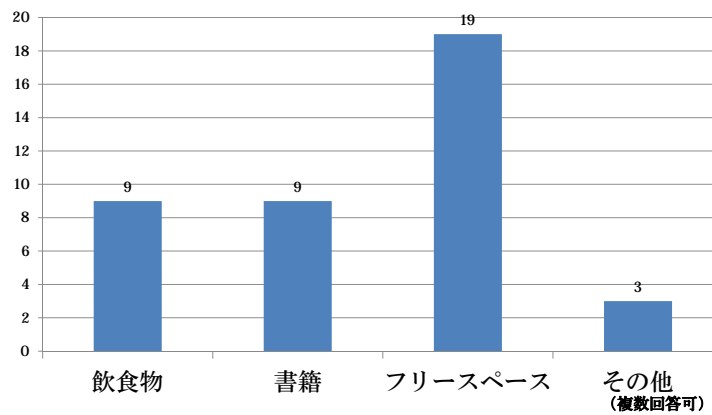
・来店者の8割以上が事前周知によるものだった

Q2, 「PUKcafe」に来てよかったと思うか



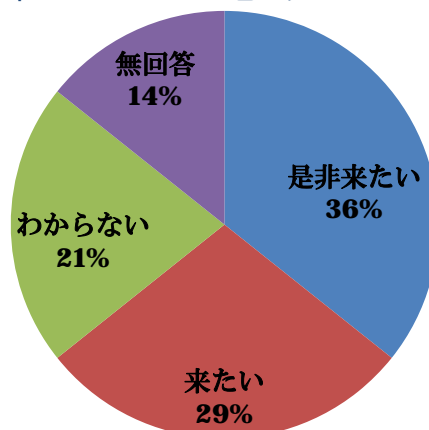
・ほとんどの方が満足していた

Q3, 何のサービスがよかったと感じたか



- ・フリースペースの満足度が高く、応用のききやすいと思われる

Q4, 「PUKcafe」のような店舗にまた来店したいと思うか



- ・Q2の結果と比較して、また来たいという回答が思ったより少なかった

Q5,中高生の商店街の利用を増やすには？

小学生→無料サービス

中学生→サービスの中身重視
(ゲームセンター、服飾店、雑貨屋)

高校生→雰囲気重視
(気軽に入れるかどうか等)

取組の結果からわかったこと①

効果

- サービスの内容（カフェ、漫画など）は好評で、満足度は高かった
- 大学生との交流が喜ばれたので若い世代の店舗運営が効果的

取組の結果からわかったこと②

課題

- ・ターゲット層である中高生があまり来なかった
(大人の方が多かった)
- ・事前調査不足
(中高生の活動する時間帯、興味・関心)
- ・商店街の方々との連携

提言

①商店街にふれるきっかけづくり

②商店街の整備

③意識改革



提言①

商店街にふれるきっかけづくり

- 職場体験などを積極的に取り入れる
- 総合的な学習で取り上げてもらう
- 中高生に有効的な情報発信
(Facebook、twitter)

提言②

商店街の整備

- 空き店舗の活用
(まとめて1つの店にしてスペースを確保する)
- 様々な世代を呼び込む施設
(寺子屋塾、育児相談所など)
- 駐輪場をつくる



提言③ 意識改革

- ・市側と商店街側の意識の統一
（ターゲット層の切り替え）
- ・商店街の方が問題意識を持ち
先頭に立って活性化に取り組む

まとめ

今回のような単発的な取り組みだけでは
中高生は呼び込めない！！

→ ・長期的な取り組み

- ・ターゲット層をより若い世代に設定し
幼いころから商店街に愛着を持たせる



ご清聴ありがとうございました